

# 旧約聖書ルツ記 1、2章の会話文における kəṭal 形の用法について

—TMA 解釈と命令形との比較を中心に—

池 田 晶

## 1. 本稿の背景と目的

聖書ヘブライ語の動詞の一形態である kəṭal 形は伝統的には完了形とされていたが、池田潤 (2004) で以下のことが提示された。

- 聖書ヘブライ語の kəṭal 形は TMA<sup>ii</sup> に関して無標である。
- kəṭal 形の TMA は文脈 (前の文の TMA と構文、同一文中の副詞) によって決まる。
- 文脈からとくに指定がない場合、kəṭal 形の動詞の意味に応じてデフォルト値をとる (動作動詞は過去、状態動詞は現在ないし習慣)。池田潤 (*ibid.*: 88)

しかし、池田潤 (*ibid.*) が分析対象としたのは地の文のみであった。池田晶 (2005) でこの枠組みを当てはめて会話文の分析をしたところ、以下のような結果が得られた。

- 地の文と同じく TMA に関して無標な kəṭal 形も見られる
- 会話文における聖書ヘブライ語の kəṭal 形のデフォルト値は人称との関連性があり、地の文のそれとは異なる例が多く見られる。2 人称で非過去のときは命令のムードを帯びることが多い 池田晶 (*ibid.*: 31)

ただし、分析テキストが創世記とルツ記それぞれの、ごく一部と限られていたので、多様な人物や人称の出現する 4 章からなるルツ記全体に今後対象を広げるべく、今回はその足がかりとしてルツ記の 1、2 章全体の kəṭal 形を分析する。そして池田晶 (*ibid.*) で特に目立った命令的な kəṭal 形の用法と命令形そのものを比較し、また、多様な人称と TMA の関係を意識しながら会話文の kəṭal 形の特徴をより深く描き出してみたい。

## 2. 分析<sup>iii</sup>

以下で池田潤(2004)を考慮に入れつつ、池田晶(2005)の枠組みをルツ記の 1、2 章にあてはめ、再検討する。

### 2.1. 分析例 1

〈1〉 Ru.1:8b~

lékno	ššóbnɔ	ʔiššo ləbêʔ ʔimmɔh	yáʕaś
行きなさい	帰りなさい	それぞれの母の家へ	してくれますように
命.女.複	命.女.複		yikʔol.3.男.単.jus.

YHWH	ʕimmɔkɛm	h̄esed	ka+ʔaʕer	ʕaʕítem
YHWH が	あなたたちに	慈愛を	～のように	あなたたちがした
			前置詞+関係詞	kʔal.2.男*.複

ʕim-hammetʕim wəʕimmɔdí ※ルツ記には男性形複数形と女性形複数形の混同がよく見られる。  
死者たちと私に対して

【訳】(ナオミは二人の義理の娘たちに言った。)[お行きなさい。そしてそれぞれの母の家へとお戻りなさい。ヤハウエがあなたたちに慈愛を下さいますように。あなたたちがかの死者たちと私にしてくれたように。]

冒頭の二つの命令形だが、接続詞の w を伴わずに並列していることに注意したい。同様の例として Ru.1:9, 1:11, 1:12, 1:15, 1:20, 2:2 があるが、文頭、文中、そして並置されている、といったことは問わず接続詞 w を伴っていない。これらの例は Ru.1:20 のお互いに立場が対等と思われるナオミから町の女性たちへの発話以外は全て、立場が上の者から下の者に対する発話である。kʔal 形「ʕaʕítem(あなたたちがした)」は関係節中にあるので主節の TMA の影響を受けないが、池田潤(2004)の枠組みでは、動作動詞ということでデフォルト値の「過去」ということになる。しかし、ここではナオミが二人の義理の娘たちに亡くなった二人の息子たちや自分たちに対して「してきてくれたこと」に感謝を述べていると考えることができるのではないか、ということから筆者は過去というよりも現在完了と解釈した。日本語による解釈のほかに、英訳聖書がどのように翻訳しているかも参考になる。もちろん、原典からの訳か重訳かという問題や、原典からの翻訳であってもそれまでの翻訳を踏まえて、ということが影響してくるが、筆者の解釈にある程度説得力を与えてくれると思う。今回は次の5種類の英訳聖書、New English Bible (NEB), New American Bible (NAB), New Revised Standard Version (NRSV), New International Version (NIV), New Jerusalem Bible (NJB)を参照する。本節の kʔal 形に関して、五種類全て現在完了で解釈している。

## 2.2. 分析例 2

### 《2》 Ru.1:11b~

ha+ʕod-	lí	hɔnɪm	bəmeʕay	wə+hɔyu	lɔkɛm	laʔnošim
まだ	私に	子供たちが	私の胎内に	そして、なる	貴女たちに	夫に
疑+副				接+kʔal.3.複		

【訳】(しかしナオミは言った。)[…まだ私の胎内に男の子たちがいて、彼らがあなたたちの夫たちになるとでも言うのですか？]

kʔal 形「hɔyu (なる)」は be 動詞相当の状態動詞 hɔyu なのでデフォルトなら現在もしくは

習慣となるが、直前までの仮定の話の踏まえて mood としても仮定と見ることができる。英訳聖書でも more sons in my womb to make husbands という解釈を除くと、could, might, may の法助動詞を用いている。子供たちがいたとして彼らが夫になるのは未来（非過去）のことなので、テンスとしても非過去ということになる。

### 2.3. 分析例 3

#### 〈3〉 Ru.1:12

kí	zəkántí	mihyoṭ	ləʔiš	kí
なぜなら	私は年をとった	～になるには	妻に	もし仮に（条件）
<b>ḳoṭal.1.単</b>				
ʔəmártí	yeš-lí ʔikwo	gam	həyítí	halláylo
言う	私に希望がある	（強調）	なる	今夜
<b>ḳoṭal.1.単</b>			<b>ḳoṭal.1.単</b>	
ləʔiš	wə+gam	yələḳtí	ḥonim	
妻に	接+強調	生む	子供たちを	
<b>ḳoṭal.1.単</b>				

【訳】…なぜなら、私は人のものとなるには年をとりすぎたのです。仮に私に、今夜私が誰かのものとなって、私が子どもたちを産むという希望があるとしましょう。

出現している ḳoṭal 形は全て一人称単数である。「zəkántí（年をとった）」は状態動詞で従属節内にあるのでデフォルトの現在で、池田潤（2004）の指摘のとおりである。英訳聖書も全て現在である。残りの3つの ḳoṭal 形は、条件節を導く kí と、文脈的に未来（非過去）を示す「halláylo（今夜）」の影響を受け、非過去のテンスとなり TMA としては条件、非過去となる。

### 2.4. 分析例 4

#### 〈4〉 Ru.1:13d~

kí-	mar	-lí	kí-	-yoṣʔə	bí yaḳ- YHWH
なぜなら	辛い	私にとって	…	なぜなら	下った
<b>ḳoṭal.3.男.単</b>				<b>ḳoṭal.3.女.単</b>	
YHWHの手が私に					

【訳】…なぜなら私は…辛いのです。なぜならヤハウエの御手が私に下ったからです。」

本節の二つの ḳoṭal 形は従属節内にあるので池田潤（2004）の枠組みではデフォルトとなり前者は状態動詞なので現在、後者は動作動詞なので過去になるはずである。前者は NRS の現在完了を除くと全て現在である。後者は前者とかかわり「過去に YHWH の手が下り、それが現在に影響を及ぼした結果、今辛い」ということで英訳聖書と同様に、筆者は現在完了と考える。

## 2.5. 分析例 5

### 《5》 Ru.1:20c

ki-	<b>hemar</b>	šadday	lí	məʔod
なぜなら	苦しめた	全能者	私を	とても

**ḳəṭal.3.男.単数**

【訳】「…何故なら全能者が私をひどく苦しめたのですから。」

### 《6》 Ru.1:21

ʔaní məleʔo	<b>holáktí</b>	wə+rêḳom	<b>h'šīḅá+ní</b>	yhwh
私はマラ	旅立った	そして虚ろで	私を帰された	YHWH は
	<b>ḳəṭal.1.単</b>	接+副詞	<b>ḳəṭal.3.男.単+接尾辞 1.単</b>	

lómmo	tīkréʔno	lí	noʕmí	w+ YHWH	<b>ʕóno</b>
なぜ	あなた方は呼ぶ	私を	ナオミと	そして YHWH は	報いた
	yiqtol.2.女.複				<b>ḳəṭal.3.男.単</b>

bí	wə+šadday	<b>h'era</b>	lí
私に	そして全能者は	ひどい扱いをした	私に
		<b>ḳəṭal.3.男.単</b>	

【訳】私は満たされて旅立ったのに、ヤハウェは私を空手で帰らせました。どうして私のことをナオミ(こころよい人)などと呼ぶのです。ヤハウェは私を退け、そして、全能者は私にひどい扱いをされたのです。」

《5》の **ḳəṭal** 形「**hemar** (苦しめる)」は動作動詞で従属節内にあるので池田潤(2004)の枠組みでは過去になるが、「苦しめた結果が発話時点まで続いている」ということで現在完了と解釈の方が自然である。英訳聖書も全て現在完了になっている。《6》の一人称の **ḳəṭal** 形「**holáktí** (旅立つ)」は《5》に続く文なので、直前の現在完了の影響を受けると考えられるかもしれないが、旅立つという一度限りの行為で現在からは切り離し、デフォルト値を取り、過去と解釈の方が適切であると思われる。英訳聖書も全て過去形で解釈している。残りの3つの三人称の **ḳəṭal** 形「**h'šīḅá+ní** (私を帰した)」「**ʕóno** (報いた)」「**h'era** (ひどい扱いをした)」は直前の過去のテンスの影響を受けるとも考えられるが、それぞれの過去における「帰す、報いる、ひどく扱う」という結果が現在に影響を及ぼしてナオミの辛い状態と関わっているので、現在完了と解釈の方が自然である。英訳聖書も全て現在完了である。《6》では一人称から三人称へに人称が切り替わる時に TMA も変化していることに注目しておきたい。

## 2.6. 分析例 6

### 《7》 Ru.2:7ab

wattoʔmer	ʔaləqʔo	-nnoʔ	wə+ʔəsaʔtí	bo+ʕmərim
彼女は言いました	収穫させてください	どうか	集める	麦の穂を
wayyiqʔol.3.女.単	yiqʔol.1.単 coh.		接+qʕal.1.単	

【訳】(刈り入れ人たちの監督その若者は答えて言った。「…」彼女は『どうか私に集めさせてください。そして…麦の穂の間で集めさせてください』と言いました。「ʔəsaʔtí (集める)」は直前の yiqʔol 形の影響でそのまま願望法の性質を帯びる。

## 2.7. 分析例 7

### 〈8〉 Ru.2:10c

madduʕ	moʕoʔtí	hen	boʕéneko
なぜ	私は見出した	慈愛を	あなたの目に
副詞	qʕal.1.単		

【訳】(ルツはボアズに言った。)  
「なぜこんなに親切にしていただけのでしょうか  
(私はあなたの目に慈愛を見出しました) …

「moʕoʔtí (見出す)」は動作動詞なのでデフォルトなら過去である。しかし、ボアズのルツへの親切な行いに対して「見出す」ということであれば過去というよりも、その行為が現在に影響を及ぼしているということで現在完了の方が適切である。英訳では be favor, be kind を用いている NAB, NEB では現在と解釈しているが、原文に近い find を使う NIV, NJB, NRS は have found で現在完了として解釈している。

## 2.8. 分析例 8

### 〈9〉 Ru.2:11c~

hugged	huggaḍ	lí	kol	ʔəʕer-	ʕoʕít
	確かに伝えられている	私に	すべての		あなたの行った
不定.独.	qʕal.3.男.単			関係詞	qʕal.2.女.複
ʔeṭ-hamoṭek	wattaʕazbí		ʔoʕíq wə+ʔimmeḱ		wattélkí
お義母さんに	… あなたは後にした		あなたの父母	…	あなたは来た
	wayyiqʔol.2.女.単				wayyiqʔol.2.女.単
ʔel-ʕam	ʔəʕer	lo-	yəḍaʕat		təmol šilšom
地へ			あなたの知る		以前
	関係詞	否定辞	qʕal.2.女.単		

【訳】(ボアズはルツに言った。)  
「…あなたがお義母さんのためにしたことは全て伝え聞いています。あなたはお父さんとお母さん…を後にして全く見知らぬ地へやってきたのですね。

「huggaḍ (伝える)」は動作動詞なのでデフォルトなら過去である。日本語では「聞いて

た(タ形:過去)」とも「聞いている(ル形:完了)」とも解釈できるが、前者は一步引いた印象を与え、後者は過去と現在とのつながりが意識される。ボアズがルツの行為に対して前者で理解するよりも後者のほうが適切に思われる。ちなみに英訳では全て現在完了になっている。また、関係節中の「ʕəśít(貴女が行なった)」も同じ理由で、デフォルトの過去よりも現在完了の方が適切であるが、ここでも英訳では全て現在完了になっている。「yədáʕat(知る)」は関係節中にあるが副詞的要素「təmol šilšom(以前)」の影響で過去のテンスの影響を受けていると解釈する方が自然である。英訳聖書も全て過去である。

## 2.9. 分析例 9

### 《10》 Ru.2:12b

u+təhí	maškurtek šəlemə	meʕīm	YHWH ʔəlohē yisroʔel
ありますように	豊かなお恵み	～も	イスラエルの神 YHWH
yikʔol.3.女.単.jus			

ʔəʕer-	<b>bəʔt</b>	la+hasot	taħat-	kənoʔəyw
	あなたの入った	安息を求めめるために	～の下	彼の御翼の
関係詞	<b>ʔəʕal.2.女.単</b>	前+不定.独		

【訳】…そして、その御翼のもとに安息を求めて入ったイスラエルの神ヤハウエの豊かな報いもありますように。

動作動詞「bəʔt(入る)」は関係節中にあるのでデフォルトの過去と解釈するよりも、YHWHの翼の下に入り、今もそこにいる、という現在完了で解釈する方が自然である。英訳聖書も全て現在完了である。

## 2.10. 分析例 10

### 《11》 Ru.2:13b

ʔəmʕəʔ	-hen	bəʕənəkə	ʔədoní	kí
私は見出したい	慈愛を	あなたの目に	わが主よ	なぜならば
yikʔol.1.単 coh.				

nihamtə+ní	wə+kí	<b>dibbártə</b>	ʕal-leb šipħotékə
あなたは私を慰めた	そして	あなたは語りかけた	あなたの仕え女の心に
<b>ʔəʕal.2.男.単+接尾 2.女.単</b>		<b>ʔəʕal.2.男.単</b>	

【訳】(ルツはボアズに言った。)  
「ご主人さま、何と親切にしてくださるのでしょうか  
(私は貴方の目に慈愛を見出したい)。あなたは私を慰め、そして、あなたの仕え  
女の心に優しく語り掛けてくださいました。」

本節中の二つの ʔəʕal 形「慰める、語りかける」は従属節中にある動作動詞だが、この二つの行為の結果として、ルツがボアズの慈愛を見出したことから、デフォルトの過去より現在

完了の解釈が適切である。英訳でも NIV が「語りかける」を by speaking kindly…とする他は全て現在完了である。

## 2.11. 分析例 11

《12》 Ru.2:14b~

góší	h <sup>a</sup> lom	wə+ʔɔkalt	min-halléhem	wə+ʔɔbalt
来なさい	こちらへ	食べる	そのパンの中から	そして浸す
命.女.単		接+koʔal.2.女.単		接+koʔal.2.女.単
pittek		bahómeš		
あなたの (パンの) かけらを		ホメツに		

【訳】 (ボアズはルツに言った。) 「こちらへいらっしゃい。そして、パンはどれでもお食べなさい。そしてパンをホメツに浸してごらんなさい。」

二つの koʔal 形は冒頭の命令形の影響で命令的要素を帯びる。ただし、これまで見てきた命令形そのものとは異なり、両者共に接続詞 w を伴っている。本節は池田潤 (2004) の枠組みがそのまま当てはまる。

## 2.12. 分析例 12

《13》 Ru.2:16a~c

wə+ḡam	šol-	tošóllu	loh	min-haššəboʔim	wa+ʕ <sup>a</sup> zabtem
(強調)		引き抜く	彼女に	麦の穂束から	あなたたちは残す
接+接	不定.独	yikʔol.2.男.複			接+koʔal.2.男.複
wə+likkəʔo					
彼女は拾う					
接+koʔal.3.女.単					

【訳】 (するとボアズは…命じて言った。「…」 麦の穂束から彼女のために引き抜いて、あなたたちは残しなさい。そうしたら彼女は (それを) 拾い集めるだろう。

本節は、ボアズが「命じて言った」ということが影響して、最初の yikʔol が命令性を帯び、そのまま次の 「ʕ<sup>a</sup>zabtem (あなたたちは残す)」にも影響を及ぼす。ただし、その直後の koʔal 形は命令性を帯びていない。英訳では「彼女が拾えるように、彼女のために残しておく、彼女に拾わせてあげる」とさまざまな翻訳となっている。ただし、どの翻訳でも 「likkəʔo (彼女が拾う)」 そのものには命令の mood が現れていない。実際に「拾う」という行為は未来のこととなるので、テンスとしては未来ということになる。「ʕ<sup>a</sup>zabtem (あなたたちは残す)」は命令的な二人称、そして 「likkəʔo (彼女が拾う)」は命令に対する帰結節的な役割を果たしていると言える。これは《6》で確認した「人称が交替するとき TMA に何らかの影響があること」を示しているかもしれない。ここでは命令的な koʔal 二人称の後ろの koʔal 三人称

が未来であることを確認できた。

### 2.13. 分析例 13

#### 《14》 Ru.2:19b~

ʔε̄p̄o	lik̄katt	hayyom	wʔóno	ʕóšit
どこで	あなたは拾った	今日	そしてどこで	あなたは行なった
	<b>ḳoʕal.2.女.単</b>			<b>ḳoʕal.2.女.単</b>

【訳】「どこであなたは今日落穂拾いをしたの？ どこで働いたの？」

#### 《15》 Ru.2:19e

šem hōʔiš	ʔʕser	ʕóšití	šimmo	hayyom	bóʕʔz
その男性の名前		私が行なった (働いた)	彼と共に	今日	ボアズ
	関係詞	<b>ḳoʕal.1.単</b>			

【訳】(ルツは言った。)  
「私が今日一緒に働いた人の名前はボアズさんといいます。」

#### 《16》 Ru.2:20b

bōruk	huʔ	l+YHWH	ʔʕser	lo-	ʕʔzab
祝福される	彼は	YHWH に			見捨てる
受動分詞			関係詞	否定辞	<b>ḳoʕal.3.男.単</b>

hasdo	ʔε̄t-haḥayyím wəʔε̄t-hammeʕím
慈愛	生きる者と死せる者に

【訳】(ナオミはルツに言った。)  
「生ける者たちへも死せる者たちへも慈しみを惜しまれなかったヤハウエがその人を祝福してくださいますように」

《14》の二つの ḳoʕal 形は共に動作動詞であり、副詞相当「hayyom (今日)」の影響で過去となる。《15》の「ʕóšití (私は働いた、行った)」も《14》と同じく副詞相当「hayyom (今日)」が出現しているために、その影響で過去となる。《16》の動作動詞「ʕʔzab (見捨てる)」の ḳoʕal は関係節内にあるので、デフォルト値をとるとすれば過去であるが、筆者は、YHWH が見捨てなかった結果がナオミとルツの発話時の状況に連結しているので現在完了と捉える方が妥当だと考える。英訳聖書では NAB が過去、NJB が現在、残りの 3 つが現在完了と捉えている。

### 2.14. 分析例 14

#### 《17》 Ru.2:21b-

gam kí-	ʔamar	ʔelay	šim-hannoʕorím	ʔʕser-lí
~とさえ	彼は言った	私に	召使いと共に	私の
	<b>ḳoʕal.3.男.単</b>			



tidbəkın	ƣad ʔim-	killu	ʔeʔ kol-haqqoşır ʔʕser-lı
あなたは共にいる	～まで	彼らが終わる	私のすべての刈り入れを
yıqtol.2.女.単		ƣoʔal.3.複	

【訳】(ルツは言った。)  
「彼は私に『私の召使いたちの後についてなさい、私のところの刈り入れが全部終わるまで』とまで言ってくださいました。」

本節の ƣoʔal 形「ʔomar (彼は言った)」は動作動詞でデフォルトの過去と捉えるのが自然である。英訳聖書も全て過去として捉えている。そして「tidbəkın(あなたは共にいる)」は yıqtol 形であるが、英訳聖書の例と同じく命令的に捉えるのが妥当である。そして「killu(彼らは終わる)」の ƣoʔal は動作動詞であるが、「ƣad ʔim- (～まで)」で導かれる従属節内にあるためにデフォルトの過去となるはずである。しかし「ƣad ʔim- (～まで)」は、後続要素としてはテンスは未来と解釈するのが妥当ではないだろうか。ちなみに英訳聖書は NAB と NIV が現在、残る 3 つが現在完了となっており、英語では「見かけ上」テンスは現在となっている。理由として until they finish/have finished の until が時・条件を示す副詞節を導入しているため、その節内では現在が未来の代用とされていることが挙げられる。したがって、事実上のテンスは未来である。ここでは、命令的な yıqtol 二人称に後続する ƣoʔal 三人称(ここでは従属節内であるが)が未来であることが確認できた。《13》と本節《17》では命令的要素の後ろの三人称は未来のテンスが来る、ということが共通している。

### 3. まとめと結論、そして今後の展開

ルツ記 1、2 章の通して 31 例の ƣoʔal 形を分析したが、そこから得られた結果として、池田晶(2005)に追加と改訂をして会話文の ƣoʔal 形の特徴として以下のことを指摘したい。

- 1) 地の文と同じく TMA に関して無標な ƣoʔal 形(13 例)も見られる
- 2) 会話文における聖書ヘブライ語の ƣoʔal 形の TMA 解釈には人称と関連するので、同一文中であっても人称の交替と共に TMA の解釈も変化する。(命令的な二人称に後続する三人称 ƣoʔal で未来を示すものが 2 例)
- 3) 動作動詞のデフォルト値は過去(2 例)よりも現在完了(12 例)が多い。(ちなみに状態動詞 2 例は、共にデフォルトは現在であった)
- 4) 命令形はどのような環境であっても接続詞を伴わないが、命令形の影響を受けた ƣoʔal 形が並置される際は接続詞を伴う

ただし、ƣoʔal 形の命令的用法とほぼ全ての命令形について立場が上から下の者に用いられているが、池田晶(2005: 28-29)より、立場が下の者から上の者への命令的用法(依頼)の ƣoʔal 形も出現しているので、命令形と ƣoʔal 形の命令的用法の違いについて現時点で結論付けることは控えたい。今後はルツ記の 3,4 章の分析も行い、さらにその後ルツ記全体を総括して会話文の ƣoʔal 形の特徴を描き出したい。

### 【註】

- i 聖書ヘブライ語概観については Badillos (1993)、Kutscher (1982)、池田晶 (2002, 2005, 2006)、動詞組織については池田潤 (1985, 1986, 2004)、J.Ikeda (2003)を参照。
- ii テンス・ムード・アспект
- iii 以下の引用では、1 段目に原文のローマ字転写、2 段目に語形分析、3 段目に意味、そして最後に参考訳を付すという方法をとったが紙幅の関係で最低限にとどめ、場合によっては語句単位で意味のみを記す。なお参考訳は池田晶 (2002)をもとにした。聖書ヘブライ語のローマ字転写は、池田・高橋・池田 (2003)の提案する方式に従うが、メテグは省略し、マケフは「-」で示した。グロスに用いる略号は次のとおり。Ru = ルツ記、1 = 1 人称、2 = 2 人称、3 = 3 人称、男 = 男性形、女 = 女性形、単 = 単数、複 = 複数、jus = jussive、前 = 前置詞、副 = 副詞、接 = 接続詞、参考までに、*koṭal* 形と命令形は太字で示す。必要に応じて形態素境界は+で示す。

### 【参考文献】

- Badillos, A. S. (1993) *A History of the Hebrew Language*, Cambridge.
- BibleWorks, LLC (2013), BibleWorks 9
- フランシスコ会聖書研究所 (2013)『聖書 士師記 ルツ記』中央出版社.
- 池田晶 (2002)「ルツ記研究：その成立時期をめぐる言語学的研究」広島大学大学院社会科学科研究科修士論文.
- (2005)「聖書ヘブライ語の物語の会話文における *koṭal* 形の用法について」『言語学論叢』24. 筑波大学一般・応用言語学研究室.
- (2006)「聖書ヘブライ語の物語における *hinne* の用法—創世記に基づく談話分析—」筑波大学博士課程人文社会科学科研究科文芸・言語専攻中間評価論文.
- 池田潤 (1986)「《Waw-Convulsive 現象》理解のための作業仮説：談話文法の視点から」『言語学論叢』5: 44-57. 筑波大学一般・応用言語学研究室.
- Ikeda, J. (2003) 'The Biblical Hebrew Suffix Conjugation in the Light of Canaanite-Akkadian.' *Annual of the Japanese Biblical Institute* 29: 31-45.
- 池田潤 (2004)「アマルナ語から見た聖書ヘブライ語の接尾活用形」『言語研究』126: 69-92.
- 池田潤・高橋洋成・池田晶 (2003)「聖書ヘブライ語のラテン文字転写について：文字学・文字論的考察と筑波方式の提案」『一般言語学論叢』6: 61-106.
- Joüon, P. and T. Muraoka (2008) *A Grammar of Biblical Hebrew*. 2nd ed. Roma: Editrice Pontificio Istituto Biblico.
- Kutscher, E. Y. (1982) *A History of the Hebrew Language*. Jerusalem: Magnes Press.
- 月本昭男他 (1998)『旧約聖書XIII ルツ記 雅歌 コーヘレト書 哀歌 エステル記』岩波書店.